

障害者支援（自閉症者療育）施設 はぎの郷

令和 6 年度事業報告

1. 利用者の推移

(1)入・退所者推移

	H29.4.1	H30.4.1	R1.4.1	R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1	R5.4.1	R6.4.1	R7.4.1
男	29	29	28	28	28	28	28	28	28
女	15	15	15	15	15	15	15	15	15
対前年度増減	0	0	－1	0	0	0	0	0	0
合計	44	44	43	43	43	43	43	43	43

(2)性別・年齢別表(R7.3.31 現在)

	30	37	40	42	47	48	49	50	51	52	53	54	55	57	61	合計	平均
男	1	1	1	1	0	2	3	2	3	3	5	3	1	1	1	28	50.0
女	0	1	0	0	1	0	3	0	4	2	0	4	0	0	0	15	50.3
計	1	2	1	1	1	2	6	2	7	5	5	7	1	1	1	43	50.1

(3)市町村別利用状況(R7.3.31 現在)

	金沢市	野々市市	内灘町	津幡町	七尾市	白山市	小松市	かほく市	合計
男	22	1	1	0	1	0	0	2	28
女	5	1	1	2	3	2	1	0	15
計	27	2	2	2	4	2	1	2	43

(4) 障害支援区分表

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6
男	0	0	0	1	17	10
女	0	0	0	1	8	6
計	0	0	0	2	25	16

※支援区分パーセンテージ：区分 4 (5%) 区分 5 (59%) 区分 6 (37%)

※重度支援：24 名

2. 職員構成

(R7.3.31 現在)

	現員数			現員数	
施設長	1	常勤	看護師	2	常勤
サービス管理責任者	1	常勤	事務長	1	常勤
課長	1	常勤	事務員	1	常勤
課長補佐	1	常勤	管理栄養士	1	常勤
生活支援員	24	常勤 14			
		非常勤 10	合計	33	

3. 実施した主な行事

月	行 事	主 催	場 所
4 月	新緑喫茶	はぎの郷	正面玄関
6 月	おやじの会	保護者会	施設外周辺
7 月	キッチンカー（チャンピオンカレー）	つくしの会	正面玄関
8 月	夏まつり	はぎの郷	駐車場
9 月	お彼岸おはぎづくり	はぎの郷	各生活棟
10 月	親子フェスタ	つくしの会 保護者会	トロール
12 月	クリスマス忘年会	はぎの郷	各生活棟
2 月	節分	はぎの郷	各生活棟
3 月	お彼岸ぼたもちづくり	はぎの郷	各生活等

4. 職員研修及び関連研修

日付	分類	内 容
R6. 4. 26	講演会	『親亡きあとに向けて親ができること～親泉会の理念と実践から～』（保護者会）
6. 13-14	研修	北陸地区知的障害者福祉協会 施設長会議
6. 8 7. 23	研修	かける勉強会（ICT 機器を導入したアート活動や事業展開の事例発表）
7. 10. 18 19	研修	強度行動障害支援者養成研修：基礎
8. 7	研修	いしかわ特別支援学校公開講座
7. 29	研修	リスクマネジメント実践研修(第 1 回)
8. 29-30	研修	リスクマネジメント実践研修(第 2 回)
8. 30	講習	普通救命講習 I
9. 5 6	研修	強度行動障害支援者養成研修：実践
9. 12	研修	石川県災害派遣福祉チーム員フォローアップ研修
10. 3 4	研修	第 60 回全国知的障害福祉関係職員研究大会
10. 13	研修	口腔衛生研修
10. 23	講演	地域で学ぶ人権講座「多様性について理解を深めよう」 （主催：地区社協くらし安心づくり萩野台）
10. 28	講演会	成年後見制度と権利を守る（保護者会）
10. 30	研修	感染症対策研修会（石川中央保健所健康推進課）
11. 9	研修	北摂杉の子会セミナー2024
11. 25	研修 見学	北信越ブロック「仲間と語ろう！in めひの野園」
12. 5	研修	生産性向上研修

12.10	研修	石川県災害派遣福祉チーム登録研修
12.13	研修	石川県障害者虐待防止・権利擁護研修
12.14	研修	石川県院内感染対策講習会
12.19	研修	権利擁護研修会「親なきあとに今できること」
3.6	zoom 交流会	全日本自閉症支援者協会 北信越ブロック みんなで語ろう

職員の利用者への虐待防止、権利擁護について、月に一度虐待防止委員会議を開いた。
都度、職員全体への虐待防止研修や新人職員に対しての新人研修を行った。

5. 受諾研修・ボランティア・見学等

(1) 受諾研修及び実習

施設実習	R6.8.19～30	金城大学短期大学部 2 年生	1 名
施設実習	9.2～5/10.28～11.2	金城大学社会福祉学部 2 年生	1 名
施設実習	10.14～10/25	石川県立保育専門学園 1 年生	1 名

(2) ボランティア ※来郷時は検温・消毒を徹底

来郷者	内容	備考
知楽市スタッフ	PC クラブ・インターネットカフェ	主に第 1・3 水曜日

(3) 見学

随時、見学希望・相談等に対しては、オンライン等も利用して受け入れてきた。

6. 支援全般について

(1) 利用者の動向

男女共に 50 歳を超える方が多数となり、今まで施設として経験した事のないご病気を患う方や、思わぬ転倒による怪我が増えてきた。そうした高齢自閉症者に対する支援への知識や技術、具体的な取り組みが、今後更に求められる。

また、予防医療として胃カメラを受けたことが無い利用者を対象に、保護者に希望を取り ABC 検査(ピロリ菌、胃の状態)を実施している。検査を受けた方は全員がピロリ菌の陽性であったため、河北中央病院のご協力のもと、利用者への事前の説明と付き添い支援を行い一人一人胃カメラ検査を行う事ができた。その後ピロリ菌除去の服薬治療も行っている。

(2) 職員の支援体制

はぎの郷は、サービス管理責任者・生活支援員・看護師・管理栄養士等が常に連携を取り、24 時間 365 日を通して、夜間は夜勤職員 3 人体制で、日中は日勤の他に早出 2 人、遅番 3 人のローテーション勤務を行っている。そのため、職員は情報共有のシステムにて連携を取っている。

また、障害福祉分野の ICT 導入モデル事業を受けクラウド型の記録システムを導入しており、記録を即時・共有・活用・検証することで記録を利用者一人ひとりの支援に生かし、記録にかかる無駄を省き、支援の生産性の向上を目指している。

(3) 栄養

①管理栄養士を配置し、委託業者の管理・監督を行っている。

②6 ヶ月に一度のモニタリング会議に参加し、栄養ケアマネジメントを行った。

- ③利用者の健康状態・ADL状態・障害特性により特別食が増えてきた。
・栄養量 ・調理法 ・食事の形態（きざみ食、別盛り食、ミキサー食） ・介助皿の使用

（４）医務

①健康診断、健康管理と疾病予防

- ◆ 健康診断（年２回／ 10月・3月実施）
 - ・尿検査 ・血液検査 ・ABC検査（希望者）
 - ・結核検査（間接撮影）
 - ・身体測定（体重・身長・腹囲）
 - ・血圧、脈伯測定
- ◆ 歯科検診（年１回）
- ◆ 定期的な歯科通院
- ◆ インフルエンザワクチン接種（11/15）

②【医療連携病院】

医療法人社団浅ノ川 桜ヶ丘病院

7. 防災・感染症対策

R6.4.1 からの障害福祉サービスにおける BCP の義務化に対応し、つくしの会でも全事業所を対象とした BCP を策定した。法人運営会議において、定期的に確認を行い、必要に応じて研修や訓練、見直しを行っていくこととなった。

（１）自然災害発生時における BCP

①毎月の防災訓練

利用者の避難行動をルーチン化し落ち着いて避難できるようになることを目的に、毎月様々な想定のもと、利用者・職員により消防署への通報訓練も含んだ防災訓練を行った。

日	想定時間	想定状況	備考
4月25日	日中想定	火災想定	
5月22日	日中想定	火災想定	消防署への通報有り
6月17日	BCP 想定	大雨警報下における土砂災害	災害時 BCP 訓練
7月26日	夜間想定	火災想定	
8月21日	夜間想定	火災想定	
9月29日	日中想定	火災想定	消防署への通報有り
10月24日	日中想定	火災想定(トルル)	消防署への通報有り
11月28日	日中想定	火災想定	
12月19日	日中想定	火災想定	消防署への通報有り
1月20日	日中想定	火災想定(トルル)	消防署への通報有り
3月8日	日中想定	火災想定	消防署への通報有り
3月17日	夜間	火災想定(トルル)	消防署への通報有り
3月28日	BCP 想定	大雨警報下における土砂災害	災害時 BCP 訓練

- ・非常設備・防災備品の点検、防災食のローリングストック等は毎月実施してきた。
- ・非常通報装置の配線工事を行い、本館での放送がB棟にも流れるようになった。
- ・災害時（地震および豪雨水害）を想定した訓練の実施している。

（２）感染症対策における BCP

- ##### ①定期的な感染症対策会議の開催、研修等にて知見を深め、全職員に発信。

二酸化炭素濃度計測器を各棟に設置し、こまめな換気を徹底した。

②施設内の感染状況

令和6年度も新型コロナウイルスを始めとした感染症の状況を判断しながらの支援体制を取り、帰省・面会等は月に1回、日を指定して行った。「施設に感染を持ち込まない」ということを原則として、感染症対策委員会の主導にて感染予防に向けた取り組みを徹底し、昨年度から引き続き、来郷後の要注意期間を設けたり、全体での活動から各棟毎の生活・日中活動へと切り替えて、その中での利用者お一人おひとりに応じた支援のあり方を考えながら職員全体で取り組んできた。

9月に新型コロナウイルス感染症の発症がわかり、その後感染が施設全体に広がり、利用者43名中42名とほぼ全員が陽性となり、施設では2回目の大きなクラスターが発生してしまった。幸いにも重症化した方はおらず、療養期間を終えることができた。

8. 各部門別 活動報告

(1) QOL 向上担当部門

基本方針

ご家族と連携し、季節を感じながら、健康で心豊かな生活を提供する

重点目標：「新しい生活様式」を取り入れて安全・安心を保てるよう生活環境を見直し、一人ひとりの生活の基本部分に目を向けてQOLの向上をめざす

①日々の生活習慣の徹底

- ・手洗い消毒を徹底し、特に食事前・トイレ後・外出から戻った時に手洗いが抜けないようにした。
- ・職員のワンケアワン手洗いを徹底し、手指消毒液も常に携帯する。
- ・見通しを持って生活できるように予定表の作成と日課の掲示。
- ・館内の備品の管理は、すぐにわかるよう整理・在庫把握し、5Sを徹底した。

②健康管理

- ・毎日の健康把握（1日2回の検温）
- ・健康状態の把握（月1回のほけんの日：体重・腹囲・血圧、脈拍、体温などを測定、記録する）
- ・歯磨きは、利用者が自分の歯を磨く技術向上はもちろんであるが、職員が利用者の歯を磨く技術の向上にも力を入れて行っている。
- ・利用者の高齢化に伴う、介護の知識や技術の習得。

③余暇支援

- ・感染症対策で各棟ごとに分かれての余暇イベントを実施した。
- ・季節が感じられる小行事と土日を中心とした余暇活動の提供。
- ・入浴後の喫茶や夜のおやつ提供とお菓子作り。
- ・各棟ごとに誕生会を設け、お祝いをしている。
- ・各生活棟での季節に合わせた室内装飾活動。

(2) 日中活動支援部門 ■療育活動■

基本方針

健やかな心身を維持し、四季を感じながら豊かな生活を送れるようにする

各棟活動中心で日中活動を行っている。

●リトミック活動

A・C棟	棟内リビングでコース設定し、音楽に合わせ歩きながら、手を上げる動作・足を上げる動作を採り入れている
B棟	2階の階段の上り下りもコースに含めている。屋外実施する際には、跨いだりよけたりする障害物を設置して身体バランスや筋力維持を図るコース設定を行っている
各棟	健康器具を使用した活動も取り入れている

●ウォーキング活動

各棟別	近隣や倶利伽羅方面、宇ノ気公園、森林公園など季節に応じてコースを選択し行っている
-----	--

●教室活動（講師依頼）

外部講師	ヨガ教室
外部講師	美術教室

※アートレンタルいしかわ作品展、いしかわ障害者アート展等へ、利用者の作品を出展している。

（3）日中活動支援部門 ■作業活動■

基本方針

- ・「自分の仕事」という自覚と責任感を持って自主的に取り組める活動があること
- ・活動を通して、その文化に触れたり、人との交流が生まれていること
- ・活動により、報酬や他からの感謝、自身の健康など恩恵を受けていること

各棟活動中心で作業を行っている。

A棟	ボビン、アルミ缶リサイクル
B棟	自分作業、畑・環境整備
C棟	織物、園芸・環境整備

9. 環境の整備・修繕等（主な工事）

- ・ 5/10 A棟入浴室電灯リレースイッチ修理工事
- ・ 7/18 本館B棟非常通報装置変更工事
- ・ 8/21 A棟天井結露防止工事
- ・ 8月～10月 B棟1階天井水漏れ調査
- ・ 9月 ハイエースバン廃車 → 10月 キャラバン納車
- ・ 10/21 機械室圧力調整タンク取り換え
- ・ 10/22 A棟冷房断熱工事
- ・ 10/28 本館空調膨張タンク工事
- ・ 12/23 A棟 非常灯LED電気工事
- ・ 12/26 B棟 非常灯LED電気工事

令和6年度 ジョブスタジオ ノーム 事業報告

1. ご利用者の状況

(1) ご利用契約者数の推移

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
男	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
女	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
計	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20

(2) 性別・年齢別 人数表(R7.3.31 現在)

年齢	10台	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～	平均年齢
男	0	1	5	1	0	1	1	6	2	1	42.5
女	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	29.5
計	0	1	6	2	0	1	1	6	2	1	40.3

(3) 市町村別ご利用状況(R7.3.31 現在)

市町村	金沢市	白山市	内灘町	津幡町	羽咋市	かほく市	小矢部市	計
男	7	1	2	3	1	3	1	18
女	0	0	1	0	0	1	0	2
計	7	1	3	3	1	4	1	20

(4) 利用者の障害支援区分(R7.3.31 現在)

	利用者数	障害支援区分判定						未判定
		1	2	3	4	5	6	
男	18			9	2	2	3	2
女	2				1	1		0
計	20			9	3	3	3	2

(5) 延べ利用者数と開所日数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
延べ利用者数	430	431	411	442	440	374	454	425	412	372	354	400
開所日数	23	23	22	24	24	21	24	23	22	21	20	22

※年間を通した平均利用者数は 18.4 名となった。

2. 職員構成と異動

R7.3.31 現在

管理者	1	常勤
サービス管理責任者	1	常勤
目標工賃達成指導員	1	常勤
職業指導員	1	常勤
生活支援員	7 (3.9)	常勤／非常勤

※R7.1.31 職業指導員 1 名(常勤) 退職 自己都合

※R7.1.15 生活支援員 1 名(0.75 人) 採用

※R7.3.18 生活支援員 1 名(0.15 人) 採用

3. 実施した主な行事

(1) ノーム全般（施設行事・交流）

日	内 容	会場
4/2	自閉症啓発デー ブルーライトアップイベント	金沢市役所他
4/25	八重桜ウォーク（倶利伽羅峠まで往復 16km）	倶利伽羅公園
6/1	（保護者会）おやじの会	はぎの郷・ノーム
6/2	萩野台小学校奉仕草刈り	萩野台公民館
6/9	津幡町美化大作戦 参加	萩野台公民館
6/21	シャボンさんショー	はぎ・ノーム合同
	梅干し作り（保護者会活動に協力）中止	
8/10	萩坂地区合同盆踊り大会	萩野台公民館
7/10	大の里優勝おめでとう記念 チャンピオンカレー大会	はぎの郷 駐 車 場 ステージ前
9/27	ノームボウリング大会	マンボウ 諸江店
11/22	ノームチャレンジデー トレインパーク白山&キッチンユキ	トレインパーク 白 山。キッチンユキ
10/26	ファミリーフェスタ	トロル
12/26	ノーム年末大反省会&1年を振り返ろう会	トロル
2/3	ノーム節分	トロル
2/14	みそ作り	トロル

(2) 就労支援関連

9/29	ふれあいフェスティバル 出店	産業展示館
10/6	福祉の集い金沢 出店	松ヶ枝福祉館
12/20	P F U / P r o D e S 様 クリスマスお届け販売会	本社/ProDeS 売店
12/24	F J I T 労働組合とのクリスマス販売会 今年度も対面販売中止、製品の予約販売のみ	F J I T 労組
●津幡町役場、津幡町社協、ユニバール(株)のご協力にて季節の企画（母の日、父の日、ハロウィン、クリスマス、バレンタイン、ホワイトデー）においてチラシ回覧による注文販売を実施		

(3) 生活・余暇支援関連

6/6	歯科検診	はぎの郷・ノーム
10/18	健康診断	はぎの郷
11/15	インフルエンザ予防接種	はぎの郷
3/11	健康診断（はぎ・すぎな）	本館ホール

※労働の報酬を実感できるよう、ご家族のご協力を得て毎月の給料日を一部現金支給にし、貯金箱に積み立てを行い、「チャレンジデー」「振り返り会」等の行事の費用に充てている。（H23年度より継続）

4. 防災訓練

- ・法人 BCP に則して、備品の管理や、研修、訓練を行った。
- ・秋と春の火災予防週間に合わせ、火災想定や地震想定避難訓練を 2 回、実施した。同時に消防署への通報訓練も合わせて行い、防災機器の確認も行った。消火器の更新、誘導灯のランプ更新も行った。

5. 職員研修及び福利厚生

日 付	分類	内 容	備考
10～12 月	厚生	職員健康診断（河北中央病院 他）	
7/11、7/19、7/20	研修	強度行動障害支援者養成研修(基礎)	講師として
8/30	研修	救命救急法研修	
9/5、9/6	研修	強度行動障害支援者養成研修(実践)	講師として
10/13	研修	口腔衛生研修	
11/25	大会	北陸地区障害者支援施設部会施設長会議	
1/21	研修	広域的支援人材情報アップデートデー	東京

※オンラインの研修プログラムの利用

6. 受諾研修・実習・ボランティア・見学等

(ア) 受諾研修及び実習 ※今年度該当なし

受入日(期間)	分類	所属	人数	延べ日数

(イ) ボランティア

来郷者	内容	備考
NPO 法人 ケーネット知楽市	インターネットカフェ	主に第1・3水曜日
	PC 再生	随時
石川工業高等専門学校	インターネットカフェ／PC 再生	随時

(ウ) 職員の委嘱業務・地域貢献等

津幡町共同募金会 審査委員	津幡町共同募金会
津幡町障害者地域自立支援協議会 委員	津幡町
強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践）企画委員	石川県
障害のある方のアート活動支援研究会 企画委員	石川県
自閉症啓発デー 関連行事	石川県自閉症協会
いしかわ特別支援学校 販売活動への協力 5/19、6/26	いしかわ特支
くらし安心づくり萩野台人権講座 講師 10/23	萩野台公民館

(エ) 見学者ご来訪

月日	見学者	備考	人数
	就職希望者・父兄見学会	ご希望日にその都度	
5/21	中学生父母		2

7. 整備・修繕工事等

・ヤモリ侵入による調理室エアコン室外機のショート事故

8. 助成、寄贈

・認定 NPO 法人イーパーツより、24 型モニター10 台寄贈(法人へ)

9. 今年度の取り組みのふり振り返りと工賃支給実績

(1) 支援全般について

●工賃向上や社会参加につながる各種イベントへの出店・販路の拡大

令和6年度も、様々なイベントが復活し、洋菓子製造、企業委託業務等にて売り上げを伸ばすことが出来たが、原材料・光熱費等の高騰により、収益増には繋がらなかった。また創作活動も積極的に行い、日常の作業の活動の中で、敢えて時間を取ってアート作品の製作を行う時間も設けることが増えた。

●それぞれの働くスタイル

今年度も大きく分けて、1日を通して作業労働に従事される方（5時間）と、午前運動（2時間）・午後作業労働（3時間）という日課で過ごされる方との2グループに分けた運営を行ってきた。

【就労支援事業収入と工賃支給】

	R6年度	R5年度	R4年度	R3年度	R2年度	R1年度	30年度
① 就労支援事業収入	5,212,544	5,275,061	4,926,319	4,779,709	4,976,145	5,405,745	5,827,023
② 工賃支払総額	2,833,651	3,102,049	2,697,474	2,580,071	2,478,634	3,032,377	3,213,023
③ 平均工賃月額	12,847	14,049	11,527	11,416	10,871	12,959	13,192

(2) 各作業種目別実績

作業種目	具体的作業名	作業の内容・特徴	年間売上げ額 (売上全体に対する割合)	作業における課題
飲食料品	食品加工 (焼き菓子作り)	洋菓子(クッキー)の製造 販売会やショップ販売の実施 企画セットやギフトセットの販売 企業等への注文販売	2,611,529 円 (50.1) %	宅配用セット商品の開発
日用雑貨・小物・木工(工芸)	ウェス加工 名刺・年賀状印刷 ポストカード メモ帳・木工 アート作品	・ノーム・はぎの郷利用者の絵画を使用した自主製品作り ・昨年からの木工作業等、季節製品等は本年も継続。	137,365 円 (2.6) %	イベント減少により販売は伸びていないが、「かける」の活動やARI事業により利用者のアートが採用される機会が増えており、収入にも繋がっている。
下請け・内職	カーテンフック 組み立て作業 菓子ラッピング作業	・誰でも参加できる軽作業として、位置付けている。 ・常に材料の供給があるため安定して同一の作業活動を提供できる	1,544,950 円 (29.6) %	フック:分かりやすい作業のため、ノームの活動の中心となっている。ラッピング:作業量が増えているが職員による検品作業も増えている
その他	PC再生	・利用者の社会参加・社会貢献の機会を広げる作業として位置付け ・多くのNPOやボランティアとの協働作業で実施している	516,500 円 (9.9) %	企業からの不用PCの提供が減少しており、再生台数も減少している
清掃業	清掃業務 ・環境整備	・業務訓練の一環として、同法人施設の清掃を部分的に実施している。 ・マニュアルに沿った業務を遂行できるよう支援している。	402,200 円 (7.7) %	作業マニュアルが形骸化し、作業者の自己流になりかけている

10. 自閉症啓発への取り組み

◎世界自閉症啓発デー Light It Up Blue2024: 石川門ブルーライトアップへの協力

◎強度行動障害支援者養成研修(基礎研修・実践研修)

県の研修の企画委員として参加し、県下全ての障害福祉事業所職員を対象に、強度行動障害に至る可能性のある自閉症児者への支援についての研修を実施し、自閉症者への支援に対する理解の浸透と、障害者虐待防止・権利擁護に繋がることを目指している。(継続中)
以上

令和6年度「ホームすぎな」事業報告

1. 利用者の状況 (R7.3.31 現在)

(1) 利用者の性別、年齢、市町村別状況

- ・現利用者は6名(定員7名)、全員男性、平均年齢:52.8歳
- ・出身市町:金沢市(4)、かほく市(1)、白山市(1)
- ・現住所:金沢(3)、津幡(3)

(2) 障害支援区分

- ・区分4 (3名) ・区分5 (3名)

(3) 日中活動

- ・6名全員、平日の日中はジョブスタジオノームに出勤して生産活動や受託作業等の作業に従事されている。ノーム・すぎなの生活支援員が連携して、GHでの生活・余暇支援にあたっている。

2. 職員配置 (R7.4.1 現在)

- ・管理者(1)・・・常勤(兼務)
- ・サービス管理責任者(1)・・・常勤(兼務)
- ・生活支援員(3)・・・非常勤専任2、常勤兼務1
- ・世話人(3)・・・非常勤(専任)

※R7.1.15 世話人1名(0.15人) 採用

※R7.4.1 世話人1名(0.23人) 採用 生活支援員等 常勤換算 3.42人

※他、はぎの郷職員によるバックアップ体制

3. 年間延べ利用人数

R6年度	R5年度	R4年度	R3年度	R2年度
2,065	2,012	2,096	2,082	2,107

※開所日数 347日: はぎの郷と同日程で、月1回の週末帰省を実施した。

4. 支援内容

- ・支援員等の業務の負荷が過重にならないよう、世話人や生活支援員の勤務シフトを調整した。また土日の勤務の世話人も固定したことで、計画的な週末の余暇活動も運営できている。万一の事態(感染症、大雪、職員の不調等)の体制が調整しにくいということや、夜間の見守り・支援体制が取れていないことが課題となっている。
- ・昨年度に引き続き、余暇の過ごし方について各利用者にアンケートを実施し、企画に反映させた。また、土日に支援に入る職員を定着させたことにより、週末の活動が計画的に実施できるようになり皆さんのお楽しみとなっている。また聞き取りにより、個別の余暇の過ごし方も支援するようになってきた。
- ・クラウド型グループウェアにて、すぎな利用者の状況や支援内容についてはぎの郷・ノーム職員とも共有できるようになった。
- ・消防への通報を含む防災訓練は年2回実施した
- ・北國愛のほほえみ基金の寄贈により、カセットガス式発電機を整備することが出来た。

5. 課題

- (1)新記録システムの運用の充実を図ると共に。ロボット・見守りシステムを連結させることで、24時間切れ目の無い見守り体制を構築し、法人全体の高齢化対策に活かしたい。
- (2)防災用品や備蓄品等の為、適した場所に防災倉庫の設置が必要。
- (3)夜間支援体制、医療との連携体制の整備が今後重要となってくる。 以上

発達障害者支援センターパース 令和6年度事業報告

1. センターの状況

(1) 職員配置

6名（内、常勤5名、非常勤1名 *7月より非常勤1名減となった）

(2) 実施場所

金沢市福久東1-56 オフィスオーセド2階建ての2階の2室を賃借

(3) 委託料

前年度と同額（消費税及び地方消費税分を含む）

2. センター事業の実施状況（表1）

			R6 年度	前年度
(1) 発達障害児者及びその家族に対する相談支援・発達支援	来所、訪問、電話、Eメール	実支援人数	480 人	423 人
	原則、日曜・年末年始を除く 9:00～17:30	延支援件数	1694 件	1717 件
	Eメールは 24 時間受付、緊急時は携帯電話等で時間外にも対応			
	心理学的判定	実判定人数	12 人	18 人
	情報共有等（調整会議）		79 件	55 件
	関係機関職員への助言（機関コンサルテーション）		1529 件	722 件
(2) 発達障害児者に対する就労支援	来所、訪問、電話、Eメール	実支援人数	215 人	214 人
	原則、日曜・年末年始を除く 9:00～17:30	延支援件数	1962 件	2609 件
	Eメールは 24 時間受付			
	情報共有等（調整会議）		65 件	159 件
	関係機関職員への助言（機関コンサルテーション）		424 件	775 件
(3) 地域住民等に対する普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・世界自閉症啓発デーについての広報活動 ・ペアレントメンターについての周知・理解 ・NPO 法人への発達障害者支援に関する助言、説明会 ・ピアサポーターへの説明会 	実施回数	33 回	2 回
(4) 関係施設・関係機関等に対する普及啓発及び研修	センター主催または共催で企画した研修	実施回数	20 回	22 回
	・ペアレンティング研修の主催、ペアレントメンター相談会の共催 他	延参加人数	254 人	72 人
	外部から講師依頼を受けた研修（講師派遣）	実施回数	83 回	52 回
		延参加人数	1356 人	878 人
	教育関係者との合同研修会	実施回数	14 回	24 回
		延参加人数	241 人	371 人
(5) 関係施設・関係機関等の連携	連絡協議会の開催状況	実施回数	4 回	20 回
	・世界自閉症啓発デー in 石川企画委員会 他			
	障害者総合福祉法第 89 条の協議会等への参加状況	参加回数	9 回	13 回
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域障害者自立支援協議会（津幡町・かほく市・白山市） ・市町発達障害者担当課長会議 ・石川県発達障害者支援体制推進会議等および石川県特別支援教育体制整備推進事業連絡協議会 			
	その他の協議会への参加状況	参加回数	21 回	20 回
	・強度行動障害支援者養成研修企画委員会			

3. 事業の実施内容（表2）

(1) 発達障害児者及びその家族に対する相談支援・発達支援

当事者・家族や関係機関からのニーズに対し、来所・訪問・電話・テレビ会議システム・Eメールなどの方法で相談を実施した。必要に応じて心理検査等のアセスメントや支援計画の作成を実施した。関係機関のコンサルテーションを実施した。

主な関係機関…保育所、小・中・高校、特別支援学校、大学、教育委員会、児童相談所、障害福祉サービス事業所、相談支援事業所、医療機関、保健所、行政機関 など

(2) 発達障害児者に対する就労支援

当事者・家族や関係機関からの就労に関する相談に対し、来所・訪問・電話・オンライン会議システム・Eメールなどの方法で実施した。県青年期社会適応力向上事業としてNPO法人ケーネット知楽市と協働でのITサロンや安宅数楽塾と協働でのボードゲーム（能登地区および加賀地区）の開催に協力した。他、就労関係機関のコンサルテーションを実施した。

主な関係機関…医療機関、相談支援事業所、就労移行支援事業所、就労継続支援事業所、公共職業安定所、企業、司法関係機関、行政機関 など

(3) 地域住民等に対する普及啓発

世界自閉症啓発デーin石川に関する企画・運営を、石川県自閉症協会やその他の関係者とともに実施した

(4) 関係施設及び関係機関に対する普及啓発及び研修

強度行動障害支援者養成研修の企画委員として基礎研修と実践研修の実施に協力した。

ホームページ及びブログの更新を随時実施した。

(5) 関係施設及び関係機関等の連携

発達障害者支援に関する様々な会議の企画・運営に協力、参加した。県及び市町の障害者自立支援協議会及び運営会議に参加した。

4. 家族の集い事業

(1) ペアレントメンター

昨年度実施したペアレントメンター養成講座ベーシックコースの受講者を対象としたフォローアップコースを実施した。受講者13名、講師（教育・福祉・労働の行政担当者）・インストラクター11名（インストラクターは金沢大学の教授2名、その他石川県内で活動している臨床心理士や相談支援専門員らに依頼）による、充実した研修を実施することができた。

石川県自閉症協会げんきの会をはじめとする親の会主催のグループ相談会、個別相談などに関して、延べ46名のペアレントメンター派遣をコーディネートした。

(2) ペアレンティング研修

子どもの発達・発育の偏りによる親の育児不安に関して、身近な地域で専門家の指導を受けられる環境整備の一環。児童発達支援センター、放課後等児童デイサービスの職員などを対象とし、子どもへの関わり方について親・養育者等を指導できる人材育成を行う。

今年度は＜基礎編＞として公開講座を3回実施し、児童発達支援センター、放課後等児童デイサービスの職員、行政の母子担当者、相談支援専門員、子育て団体の支援員、教員など225名が受講した。

(3) カサンドラ症候群の女性のためのグループワーク・個別相談

ペアレントメンターによるインシデントプロセス法によるグループワークを3回実施した。個別相談1回実施。合計4回の実施（R4年度は5回）

5. 発達障害者地域支援マネジャー事業

県内各市町の発達障害児者の相談体制作りや困難事例への支援ができるよう、要請に応じて県内市町に延べ110回出向いた。（前年度は98回）災害時における発達障害児者に関する

6. その他

国の「発達障害情報分析会議」の「災害時における発達障害児者支援に関する情報発信検討作業部会」において、災害時における発達障害児者支援に関するリーフレット改訂等情報発信の検討会議（R6年度・R7年度実施）に1回参加。次年度も継続参加予定。